



保護者の方へ

知っておきたい RSウイルスのおはなし

監修

公益社団法人地域医療振興協会 練馬光が丘病院
小児科部長(新生児) / 自治医科大学客員教授
細野 茂春 先生



サノフィ株式会社 アストラゼネカ株式会社

〒163-1488
東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

大阪市北区大深町3番1号

はじめに

このパンフレットでは、保護者の方に知っていただきたいRSウイルス感染症に関する基本的な知識について解説しています。

RSウイルスは、「かぜ」の原因ウイルスのひとつで子どもも大人もかかる可能性があります。2歳以下のお子さんがかかると重症化することがあります。ぜひ感染症について正しい知識を身につけてRSウイルス感染症の予防に努めていただければと思います。

監修 公益社団法人地域医療振興協会 練馬光が丘病院
小児科部長(新生児)／自治医科大学客員教授
細野 茂春 先生



目次

RSウイルスとは？	4
RSウイルス感染症流行のシーズンについて	5
RSウイルス感染症の症状	6
RSウイルス感染症の重症化	7
RSウイルス感染症の治療	8
ご家庭内でのRSウイルス感染対策	9
RSウイルス感染症を防ぐお薬	10
RSウイルス感染症関連のお役立ちサイト	11



RSウイルスとは？

2歳までにほぼすべての乳幼児がかかるRSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、RSウイルスを原因とする感染症で、いわゆる「かぜ」の原因となるウイルスのひとつと考えられています。特徴は、以下のとおりです。

- 子どもも大人も感染します。生後1歳までに50%以上の乳幼児が、2歳までにほぼすべての乳幼児がRSウイルスに感染するといわれています。
- かぜ症状ですんでしまうことがほとんどですが、2歳以下のお子さんが感染すると重症化することがあります。
- 感染経路は、咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスが付着した手や指、ものなどを經由した接触感染があります。

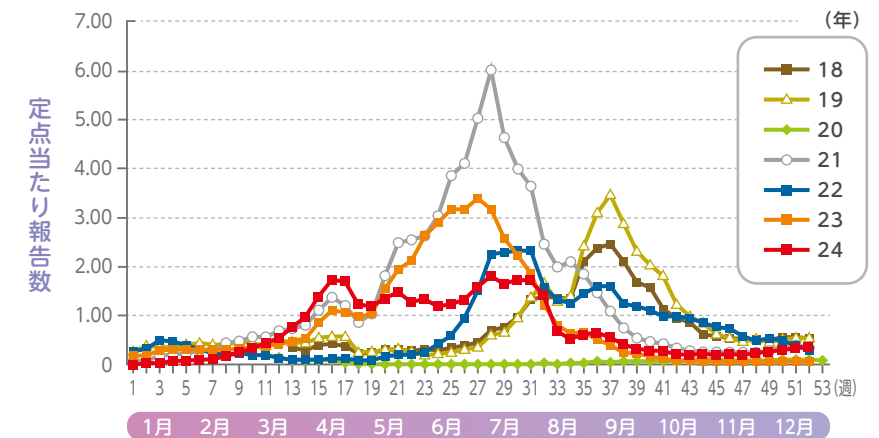


RSウイルス感染症流行のシーズンについて

流行するタイミングに備える必要があります。

日本国内においても、RSウイルス感染症は流行時期があるものの、その時期は、地域によってまた年によって異なっています。この流行タイミングに備える必要があります。

RSウイルス感染症の流行期 (全国)



感染症週報 (IDWR) (国立健康危機管理研究機構). 2024;26(52):21 をもとに作成

RSウイルス感染症の症状

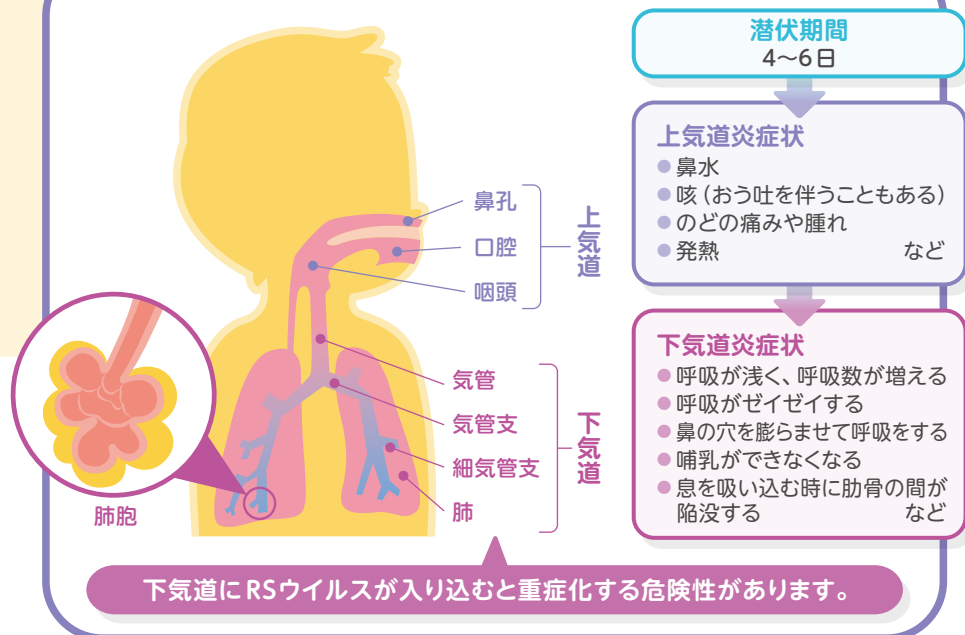
かぜ症状で始まりますが、重症化する場合があります

RSウイルスに感染すると、はじめは発熱や鼻水や咳などのかぜ症状が始まり、通常は数日から1週間くらいでよくなります。

ところが、ウイルスが気管支や肺に入り込んでしまうと気管支炎や肺炎といった重い症状を引き起こすことがあるため、注意が必要です。

症状がひどいと、入院して治療する場合があります。

呼吸器のしくみとRSウイルス感染症の症状



厚生労働省. RSウイルス感染症Q&A (令和6年5月31日改訂)
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html (2025年5月アクセス)
国立研究開発法人 国立成育医療研究センター. RSウイルス感染症
<https://www.ncchd.go.jp/hospital/sickness/children/rs.html> (2025年5月アクセス)
Kobayashi Y et al. Pediatr Int 2022; 64: e14957.

RSウイルス感染症の重症化

重症化に注意が必要な
お子さんもいます

RSウイルスは大人が感染した場合、かぜ症状だけでおさまることが多いですが、2歳までのお子さんが感染すると重症化する場合があります。

なかでも早産で生まれたお子さんや基礎疾患をお持ちのお子さんは、より重症化しやすいため、注意が必要と考えられています。

重症化のリスクが高いと考えられるお子さん



免疫不全の
基礎疾患

RSウイルス感染症の治療

ウイルスに対する治療薬はなく、
症状をやわらげる治療を行います。

現在のところ、RSウイルス感染症を直接治療するお薬はありません。

そのため、RSウイルス感染症の治療は、基本的にはあらわれた症状をやわらげる治療が行われます。

RSウイルスの感染が疑われる場合、お子さんの機嫌がよく、つらそうでなければ、慌てて受診せずに医療機関に相談してから受診されてもよいです。呼吸が苦しそうだったり、水分摂取や食事ができない場合は医療機関を受診しましょう。



ご家庭内でのRSウイルス感染対策

感染しないようにするために注意すること

RSウイルスは、咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスが付着した手や指、ものなどを経由した接触感染から広がります。

ご家族に鼻水や咳などの症状がある場合は、家でもマスクをしたり、部屋を分けるなど、お子さんにうつさないように心がけましょう。大人にとっては軽いかぜでも、お子さんにとっては重い症状を引き起こすことがあります。

また、お子さんが生活する場や日常的に触れるものはこまめにアルコールティッシュなどで清潔に保つことが大切です。せっけんによる手洗いやアルコールによる消毒も重要です。



身の回りのものを清潔に保つ。



手洗い、うがいを行う。



かぜをひいている家族との接触を避ける。
養育する人がかぜを引いてしまったらマスクをつけて世話をする。

RSウイルス感染症を防ぐお薬

RSウイルス感染症は重症化しやすいため、
予防や発症抑制するお薬があります。

私たちのからだにはウイルスや細菌などの異物が体内に入ってくるとその異物と結合する「抗体」というタンパク質がつくられ、ウイルスなどを死滅させる免疫システムがあります。

● 抗体医薬品

抗体医薬品はからだの免疫システムを使わずに、からだの外でつくられた抗体を注射するお薬です。

RSウイルスの抗体医薬品は、あらかじめお薬を注射してからだのなかで持続させておきます。これによりRSウイルスにさらされた際に感染を予防したり、発症や重症化を抑えることを期待します。

● 母子免疫ワクチン(ワクチン)

ワクチンは病原性を完全になくしたり、弱めたりした病原体の一部を接種することで、からだに免疫をつける方法が一般的です。

しかし、お子さん自身に接種できるRSウイルスワクチンは現在ありません。その代わりに、妊娠中のお母さんにワクチン接種を行い、お子さんがRSウイルスの抗体を持った状態で生まれてくることを期待する、RSウイルス母子免疫ワクチンがあります。

RSウイルス感染症関連のお役立ちサイト

RSウイルス感染症 Q&A



厚生労働省が一般の方々を対象に、RSウイルス感染症に関するQ&AをわかりやすくまとめたWebサイトです。

厚生労働省 | RSウイルス感染症 Q&A (令和6年5月31日改訂)
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html

KNOW VPD!—VPDを知って、子どもを守ろう。



VPDとは、ワクチンで防げる病気のことです。こちらはNPO法人が運営するwebサイトで、お子さんがかかる可能性があるVPDについて、一般の方にもわかりやすい内容でまとめられています。

KNOW VPD!—VPDを知って、子どもを守ろう。
<https://www.know-vpd.jp/>

感染症の最新情報



RSウイルス感染症だけではなく、新型コロナウイルスやインフルエンザ、手足口病など約20種類の感染症について、毎週の流行状況をお届けしています。

NHK 特設サイト | 感染症データ・情報
<https://www3.nhk.or.jp/news/special/infection/dashboard/>